

全土連会長賞

部 門	受益農家集団の部
国営地区名	おおよどがわさがん 大淀川左岸
表彰団体名	宮崎中央農業協同組合高岡支店施設きゅうり 胡瓜部会

1 表彰団体の概要

- (1) 名 称 宮崎中央農業協同組合高岡支店施設きゅうり胡瓜部会
 (2) 設 立 平成9年
 (3) 所 在 地 宮崎県宮崎市高岡町
 (4) 集 団 の 性 質 栽培協定
 (5) 構 成 農 家

専 業	種兼業	種兼業	計
75 戸	- 戸	- 戸	75 戸

- (6) 経営耕地面積 21.6ha
 (7) 主 要 作 物 きゅうり

2 表彰理由

昭和49年に前身組織が発足して以来、組織体制の強化と栽培技術の向上に努め、県内有数の施設きゅうり産地を維持・発展させている。
 専業により良質で適温の水が利用できることになり、かんがい用水を活用した病害虫湛水防除に努め、品質及び販売金額の向上を実現している。
 また、就農希望者の受け入れにより、新規就農者や後継者が定着し、部会員も9割が認定農業者になるなど担い手が確保されている。

国営かんがい排水事業「大淀川左岸地区」は、宮崎県の中心部を流れる大淀川の下流域に位置し、水稻・野菜・果樹等多様な営農がなされている。

本地域は、温暖で日照時間が長く、恵まれた自然条件の下に、昭和40年代中頃までは温州みかんなどの果樹の生産が盛んに行われてきたが、果樹経営の不振等により野菜作が増加した。事業実施前は畑及び樹園地の用水施設が未整備で、露地野菜、飼料作物等の畑作物が中心の不安定かつ生産性の低い農業が営まれており、また、水田においても恒常的に水不足をきたしていたことから、国営事業及び関連事業により用水の安定供給を図り、農業の近代化を進め、農業経営の安定を図ってきた。

本部会の前身は、昭和49年に高岡町園芸振興会の一部会として発足し、その後、栽培面積を拡大し、昭和53年に旧高岡町は春冬きゅうりの野菜指定産地となっている。平成9年に、きゅうりの全量共同販売体制の中、生産性・品質の向上に取り組み、部会員相互の協調と経営の安定・向上を図ることを目的として、本部会に再編した。

良質で適温の畑地かんがい用水が利用できることになり、病害虫の湛水防除や太陽熱消毒の定着に努めることで、品質が向上している。

また、平成7年に共同利用の選果・箱詰め施設を導入し、労働時間の大幅な削減に繋がっている。

この他、プロスポーツキャンプや試合での販売促進やバイヤーを招いての収穫体験など、積極的な活動を展開し、当きゅうり産地の発展と銘柄確立に努めている。

全土連会長賞

宮崎県：大淀川左岸地区 宮崎中央農業協同組合高岡支店施設胡瓜部会

きゅうりの栽培状況

国営かんがい排水事業で造成された施設からの通水によりかんがい用水の利用が開始され、水が必要な時に十分なかん水を行うことができるようになった。



(病虫害湛水防除)



病虫害湛水防除及び太陽熱土壤消毒への取組

きゅうりを栽培する上での適正な土壤環境を維持するため、病虫害湛水防除や太陽熱土壤消毒など、環境に配慮した病虫害防除に取り組んでいる。



(太陽熱土壤消毒)



販売促進の活動

全国キャラバン、プロスポーツのキャンプ及び試合での販売促進のほか、バイヤーを招いての収穫体験など、積極的な販売促進活動を行っている。



農地・水・環境保全向上対策への取組

本部会の構成員及び自治会、漁協、NPO団体等により、農地等の維持管理活動をはじめ、魚類等の生息環境の保全を図る地域共同活動を展開し、農業生産と農村環境が調和した地域づくりに取り組んでいる。